

2006年新春 ごあいさつ

八幡平市長 田村正彦



明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

秀峰岩手山、八幡平、安比高原の豊かな自然に恵まれた八幡平市は昨年9月1日、平成の大合併の中、岩手県における14番目の市として誕生し、4カ月が経過しました。

この間、合併協議での「新たなまちづくり」に向けた調整方針を基本に、各地域がいち早く融合を図るとともに、より一層の発展に向けて前進していきよう、各般の努力を積み重ねてきたところであり、市政もおおむね順調に推移しております。
新生「八幡平市」の合併は、合併に寄せる旧西根町、旧松尾村、

旧安代町の住民各位のご理解のもと、真摯にご協議いただきました合併協議会関係委員各位の熱意とご努力、旧町村議会議員各位のご理解とご支援の賜物とあらためて拝謝いたします。

私たちは今、多くの先達の後を引き継ぎ、これまで培ってきた旧町村のそれぞれの歴史、伝統、文化を尊重しながら、恵まれた自然環境と地理的条件を最大限に生かした、新しく息吹に燃える八幡平市の大きい歴史を刻んでいこうとしています。

合併を契機として私たちは、市勢発展のために飛躍を目指し、新市建設計画の指標である「農と輝の大地―岩手山・八幡平・安比高原の恵みに満ちた、交流新拠点をめざして―」の実現に向けて、市民の英知を結集し、邁進する決意であります。

年頭に当たり、市民の皆さまのご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げますとともに、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

市議会議長 井上 勉



明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、旧西根町・旧松尾村・旧安代町が合併し、新生「八幡平市」誕生という歴史的に大きな出来事があった年でありました。これもひとえに市民の皆さまの深いご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

昨今の地方自治体を取り巻く環境は、景気低迷や国庫補助負担金の廃止・縮減、地方交付税の見直しなど、厳しい財政運営を強いられている一方、本格的な地方分権時代を迎え、地方の特性、個性を生かした行政運営が求められています。また、少子高齢化が進む中、福祉・医療・教育など質の高い生活環境の充実も求められています。

市議会といたしましても、その期待に応えるべく、議会の機能を十分に生かし、皆さまの総意を市政に反映し、合併してよかったと実感できる住みよい八幡平市をつくっていかねばなりません。

幸いにして八幡平市は、多くの伝統と文化に培われ、広大で肥沃な大地に恵まれ、産業と観光、文化が融合した限らない発展の可能性を秘めているものと確信しております。

我々議員一同、一丸となって本市の発展と市民の福祉向上のため、全力を尽くしてまいります。どうか本年も市議会へのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さま方の一層のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

